

百人一首 (歌番号 : 51 ~ 55)

滝の音は絶えて久しく
 なりぬれど名こそ流れて
 なほ聞こえけれ

大納言公任



忘れじの行く末までは
 かたければけふを限りの
 命ともがな

儀同三司母



嘆きつつひとり寝る夜の
 明くる間はいかに久しき
 ものとかは知る

右大将道綱母



明けぬれば暮るるものとは
 知りながらなほ恨めしき
 朝ぼらけかな

藤原道信朝臣



かくとだにえやは伊吹の
 さしも草さしも知らじな
 燃ゆる思ひを

藤原実方朝臣



なこそなが
 れてなおき
 こえけれ

きようをか
 ぎりのいの
 ちともがな

いかにひさ
 しきものと
 かはしる

なおうらめ
 しきあさぼ
 らけかな

さしもしら
 じなもゆる
 おもいを